2026年日本平和大会実行委員会ニュースno.9

発行：2026年日本平和大会実行委員会（事務局＝日本平和委員会内） 2026/10/04
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

２回目の県平和大会に150人　埼玉

埼玉県では9月28日午後、所沢市内で2026年埼玉平和大会が開催され、150人が参加しました。埼玉県は、昨年も県平和大会を開催。昨年は午前中に大会を開催し、県内の状況を交流。午後から国際シンポの視聴会という組立でした。今年は、VFPのみなさんが、空自入間基地、米軍横田基地の視察に来られるのを機に、VFPのみなさんとの交流会として開催されました。（右・ニュース参照）

今年はそのほか、茨城で初の平和大会が10月10日（チラシ右）に、兵庫では３年目となる基地シンポが10月18日に、奈良でも昨年に引き続いて２回目の県平和大会と、各地で平和大会が予定され、昨年開催地・愛知では10月28日の安保破棄県実行委総会で運動交流会が予定されています。



みんなの力で大きくしよう！
埼玉県平和委員会
速報

〒330-0063さいたま市浦和区
高砂2-3-10黒澤ビル3階
電話 048-711-4434
FAX 048-711-4555
2026年度版 部内資料
2026年9月30日 第54号

「国はウソをつき、メディアは真実を報道しない」ベテランズ・フォー・ピース（VFP）が指摘
2026年埼玉平和大会に150人

「日本平和大会in神奈川」のプレ企画として9月28日、米国の元軍人たちでつくる「ベテランズ・フォー・ピース（VFP）」のみなさんを迎えて、所沢ミューズで開催した「2026年埼玉平和大会」には150人の参加がありました（写真）。

●軍拡・改憲許
10月2日（金）正午

従軍牧師としてイラクに赴任したケリー・ウッズワーズさん（写真中・左）は、入隊前は従軍することは名誉であり、祖国への義務と考えていたが、戦地体験を通じて「アメリカは正しい戦争しかおこなわない」という信念を持てたと語り、ベニー・マルティネスさん（写真中・右から2人目）は、元兵士たちのPTSDの深刻さを自らの体験をも踏まえて紹介しました。

また、イラン戦争の長期化で150日を超える洋上勤務がつづくなかで、「トランプのために死にたくない」という人たちが軍のなかに蔓延しており、ベトナム戦争のときと同じく、内部からの崩壊がすすんでいるなど、日本のメディアからは知ることのできない「戦争のリアル」が語られました。

一方、日本の米軍基地がイラン攻撃の出撃拠点になっており、イランから反撃されてもおかしくないとして、日本も戦地になっていることが指摘されました。

「国はウソをつき、メディアは真実を報道しない」として、市民同士が国境を超えてつながりあう必要性も強調されました。

大会は11月の日本平和大会への参加を呼びかけ、「ウイ・シャル・オーバーカム」の全員合唱でフィナーレを飾り、集会後の懇親会も盛り上がりました。

委員会のメールアドレス saitama.heiwa@siren.ocn.ne.jp

プレ企画 Part3　「私たちの港と空が危ない！
『特定利用指定』がもたらす地域社会への影響と平和の未来（仮）」

- **日時**　10月28日(水)18時半～20時
- **場所**　全労連会館３Ｆ　全労連会議室
  Zoom併用　ミーティングID: 859 0058 0259　パスコード: 123456
  https://us02web.zoom.us/j/85900580259?pwd=gIJfzycUqsykpgp8Uea7YYjt5aCleV.1
- **内容**　報告①「民間の港を軍港化させるな！港湾指定の危険性を考える（仮）」、
  報告②「『特定利用』の先にあるもの―空港・港湾の軍事利用と自衛隊法103条(仮)」
  質疑応答・経験交流など

★★ 次回（第９回）実行委員会　10月16日(金)15時～17時（オンラインにて）